



# 富山大学学報

第127号・128号 (昭和45年6月・7月)

## 目次

関係法令	1
学内規則	1
富山大学学則の一部改正	1
富山大学薬学部附属和漢薬研究施設規則の一部改正	2
富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部改正	2
富山大学工学部規則の一部改正	3
富山大学大学院学則の一部改正	3
富山大学大学院薬学研究科規則の一部改正	3
富山大学大学院工学研究科規則の一部改正	4
富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部改正	4
富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部改正	4
富山大学学位規則の一部改正	4
富山大学附属図書館閲覧規則の一部改正	4
諸会議	5
人事異動	6
学内諸報	6
文理学部長の改選	6
大学開放講座の開設	7
学位取得者	7
叙位叙勲	7
海外渡航者一覧	7
昭和45年度科学研究費補助金交付内定者一覧	8
文部省会計実地監査	8
事務系初任者研修	9
学内の状況	9
文部省共済組合北陸地区体育大会	10
学内釣大会・排球大会の開催	10
文部事務官那智平八郎氏逝去	11
職員消息	11
主要日誌	11

## 関係法令

(官報掲  
載月日)

政令	
学校教育法施行令の一部を改正する政令(158)	6・1
文部省組織令の一部を改正する政令(159)	〃

恩給法の一部を改正する法律附則第24条第7項に規定する地域を定める政令(166)	6・2
恩給給与規則の一部を改正する政令(167)	〃
予算決算及び会計令等の一部を改正する政令の一部を改正する政令(220)	7・13
条約	
教育的・科学的及び文化的資材の輸入に関する協定(9)	6・17
府令	
恩給法等の一部を改正する法律の施行に伴う恩給年額の改定及び請求手続に関する総理府令(総理20)	6・2
省令	
学校教育法施行規則の一部を改正する省令(文部18)	6・1
訓令	
文部省健康安全管理規程の一部を改正する訓令(文部28)	6・22
大蔵省所管国有財産取扱規則の一部を改正する訓令(大蔵7)	7・27
規則	
職員の災害補償の一部を改正する規則(人事院16-0)	7・1
俸給の特別調整額の一部を改正する規則(同9-17)	7・22
特殊勤務手当の一部を改正する規則(同9-30)	〃

## 学内規則

### 富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のように制定する。

昭和45年6月5日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則(昭和25年1月20日制定)の一部を次のように改正する。

別表第1中、工学部電子工学科欄の講座または学科目の項のうち「△応用電子工学」の次に「△電子回路工学」を、同(共通)欄の講座または学科目の項のうち「△応用物理学」の次に「△応用数学」を加える。

別表第3を次のとおり改める。

学 部	学 科 等	入学定員	総定員
文理学部	文 学 科	60名	240名
	理 学 科	125名	500名
教育学部	小学校教員養成課程	100名	400名
	中学校教員養成課程	50名	200名
	養護学校教員養成課程	20名	80名
経済学部	経 済 学 科	160名	640名
薬学部	薬 学 科	50名	200名
	製 薬 化 学 科	50名	200名
工学部	電 気 工 学 科	50名	200名
	工 業 化 学 科	40名	160名
	金 属 工 学 科	40名	170名
	機 械 工 学 科	50名	210名
	生 産 機 械 工 学 科	40名	170名
	化 学 工 学 科	40名	160名
	電 子 工 学 科	40名	120名
合 計		915名	3,650名

**附 則**

この学則は、昭和45年6月5日から施行し、昭和45年4月1日から適用する。

**富山大学薬学部附属和漢薬研究施設規則の一部改正**

富山大学薬学部附属和漢薬研究施設規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年6月5日

富山大学長 後 藤 秀 弘

富山大学薬学部附属和漢薬研究施設規則の一部を改正する規則

富山大学薬学部附属和漢薬研究施設規則（昭和40年5月21日制定）の一部を次のように改正する。

第3条第3号の次に次の1号を加える。

(4) 病態生化学部門

**附 則**

この規則は、昭和45年6月5日から施行し、昭和41年4月1日から適用する。

**富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部改正**

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部を改正する要項を次のとおり制定する。

昭和45年7月1日

富山大学長 後 藤 秀 弘

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部を改正する要項

富山大学支出負担行為等事務取扱要項（昭和39年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

別紙2を次のように改める。

別紙2 支出負担行為書案に添付すべき書類一覧表

	工 事, 製 造	物品供給, その他
1. 見積書	1. 予定価格30万円未満のものについては2名以上のもの。 2. 予定価格が30万円以上150万円未満のものについては3名以上のものと見積一覧表, (様式第10号) 3. 競争に付しても入札者がなくまたは再度の入札をしても落札者がなく随意契約によったとき, その見積書および見積一覧表, (様式第10号)	1. 予定価格30万円未満のものについては2名以上のもの。ただし, 3万円未満のものについては市場価格または通常販売価格よりも低廉で購入し得ることが明確である場合はこの限りでない。 2. 予定価格30万円以上100万円未満のものについては3名以上のもの。 3. 競争に付しても入札者がなくまたは再度の入札をしても落札者がなく随意契約によったときその見積書および見積一覧表, (様式第10号)
2. 入札書	1. 入札書および入札一覧表。(様式第11号)	1. 工事, 製造の場合と同じ。
3. 予定価格調書 (内訳書含む)	1. 予定価格30万円以上のものについて必要。	1. 予定価格30万円以上のものについて必要。
4. 請負費内訳書 (工程表含む)	1. 30万円以上の請負について必要。 2. 製造請負の場合工程表は必要ない。	
5. 仕様書 図面, カタログ等	1. 必要。	1. 必要。ただし簡易なもので規格容量等が明確であるものは必要ない。
6. 契約書案	1. 契約書を作成する場合は必要。	1. 契約書を作成する場合は必要。

<p>7. 請書案 (様式第18号)</p>	<p>1. 契約金額30万円以上のものについては必要。ただし契約書を作成する場合は除く。 2. 契約金額30万円未満のもので紛争の生じやすい恐れのある場合は必要。</p>	<p>1. 契約金額30万円以上のものについては必要。ただし契約書を作成する場合は除く。 2. 契約金額30万円未満のもので紛争の生じやすい恐れのある場合は必要。</p>
<p>8. その他</p>	<p>1. 予定価格150万円以上のものを随意契約しようとする場合または予定価格300万円以上のものを指名競争契約しようとする場合は具体的な理由書が必要。 2. 物品の供給以外の契約で予定価格30万円以上のものについて前号1を準用する。 3. 物品供給で予定価格30万円以上のものについては使用者の選定理由書(様式第25号)が必要。 4. 契約金額30万円以上のもので特許一手販売等特定の業者と随意契約する場合はそれを証明するに足る証明書および売買実例ならびに定価表等が必要。 5. その他そのつど担当官が必要とする書類。</p>	<p>1. 予定価格100万円以上のものを随意契約しようとする場合または予定価格180万円以上のものを指名競争契約しようとする場合は具体的な理由書が必要。 2. 物品の供給以外の契約で予定価格30万円以上のものについて前号1を準用する。 3. 物品供給で予定価格30万円以上のものについては使用者の選定理由書(様式第25号)が必要。 4. 契約金額30万円以上のもので特許一手販売等特定の業者と随意契約する場合はそれを証明するに足る証明書および売買実例ならびに定価表等が必要。 5. その他そのつど担当官が必要とする書類。</p>

**附 則**

この要項は、昭和45年7月1日から施行し、昭和45年5月1日から適用する。

**富山大学工学部規則の一部改正**

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和45年7月3日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学工学部規則の一部を改正する規則  
富山大学工学部規則(昭和25年12月15日制定)の一部を次のように改正する。

別表(1)の機械工学科の表の専攻科目中

「応用数学 6」を「応用数学第1 4  
応用数学第2 2」に改める。

**附 則**

この規則は、昭和45年7月3日から施行し、昭和45年1月1日から適用する。

**富山大学大学院学則の一部改正**

富山大学大学院学則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年7月17日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学大学院学則の一部を改正する学則

富山大学大学院学則(昭和42年5月19日制定)の一部を次のように改正する。

第3条中、薬学研究科の薬学専攻の次に「製薬化学専攻」を加える。

第6条を次のように改める。

(学生定員)

**第6条** 各研究科専攻別学生定員は、次のとおりとする。

研究科名	専 攻 名	入学定員	総定員
薬学研究科	薬 学 専 攻	14名	34名
	製 薬 化 学 専 攻	12名	12名
工学研究科	電 気 工 学 専 攻	10名	20名
	工 業 化 学 専 攻	8名	16名
	金 属 工 学 専 攻	8名	16名
	機 械 工 学 専 攻	10名	20名
	生 産 機 械 工 学 専 攻	8名	16名
	化 学 工 学 専 攻	8名	16名
合 計		78名	150名

**附 則**

この学則は、昭和45年7月17日から施行し、昭和45年4月1日から適用する。

**富山大学大学院薬学研究科規則の一部改正**

富山大学大学院薬学研究科規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年7月17日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学大学院薬学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院薬学研究科規則(昭和42年5月19日制定)の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

別表 授業科目および単位数

専攻課程	授業科目	単位数	備考
薬学専攻	薬化学特論	2	○印は必修
	薬品分析化学特論	2	講義は指導教官の指導により4科目以上にわたり8単位以上。実験および演習は薬学特別実験18単位以上および演習4単位以上を履修し、あわせて30単位以上を修得しなければならない。
	生薬学特論Ⅰ	2	
	生薬学特論Ⅱ	2	
	衛生化学特論Ⅰ	2	
	衛生化学特論Ⅱ	2	
	薬剤学特論	2	
	薬品生物化学特論Ⅰ	2	
	薬品生物化学特論Ⅱ	2	
	薬品作用学特論Ⅰ	2	
	薬品作用学特論Ⅱ	2	
	○薬学特別実験	18	
	○薬学演習	4	
製薬化学専攻	薬品物理化学特論	2	
	薬品合成化学特論	2	
	薬剤製造学特論	2	
	生物薬品製造学特論	2	
	薬品製造工学特論	2	
	薬品製造化学特論	2	
	○薬学特別実験	18	
	○薬学演習	4	

**附 則**

この規則は、昭和45年7月17日から施行し、昭和45年4月1日から適用する。

**富山大学大学院工学研究科規則の一部改正**

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年7月17日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

別表中、機械工学専攻のうち

「課題研究第一 4 」「課題研究第二 8 」を「課題研究第一 6 」「課題研究第二 10 」に改める。

**附 則**

この規則は、昭和45年7月17日から施行し、昭和45年4月1日から適用する。

**富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部改正**

富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年7月17日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学大学院薬学研究科委員会規則

の一部を改正する規則

富山大学大学院薬学研究科委員会規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

第2条第2号を次のように改める。

(2) 研究科の担当教授

**附 則**

この規則は、昭和45年7月17日から施行する。

**富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部改正**

富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年7月17日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学大学院工学研究科委員会規則

の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科委員会規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

第2条第2号を次のように改める。

(2) 研究科の担当教授

**附 則**

この規則は、昭和45年7月17日から施行する。

**富山大学学位規則の一部改正**

富山大学学位規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年7月17日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学学位規則の一部を改正する規則

富山大学学位規則（昭和40年1月22日制定）の一部を次のように改正する。

この規則中、「及び」を「および」に、「又は」を「または」に改める。

第1条中「第18条第3項」を「第19条第2項」に改める。

**附 則**

この規則は、昭和45年7月17日から施行し、昭和43年4月1日から適用する。

**富山大学附属図書館閲覧規則の一部改正**

富山大学附属図書館閲覧規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年7月17日

富山大学長 後藤 秀 弘

富山大学附属図書館閲覧規則の一部を

改正する規則

富山大学附属図書館閲覧規則（昭和33年11月18日制定）の一部を次のように改正する。

第2条を次のように改める。

**第2条** 開館時間および休館日は、次のとおりとする。ただし、館長が必要と認めたときは時間を変更し、または臨時に休館することがある。

(1) 開館時間

平日 本館 午前8時30分から午後8時まで  
薬学専門図書室および工学部分館  
午前8時30分から午後5時まで

土曜日 全館 午前8時30分から午後3時30分まで

(2) 休館日

日曜日および国民の祝日  
本学創立記念日（5月31日）  
年末年始（12月28日から1月4日まで）

附 則

- この規則は、昭和45年7月17日から施行する。
- 富山大学附属図書館本館時間外閲覧に関する内規（昭和35年9月1日制定）は、廃止する。

## 諸 会 議

### 第7回評議会（6月5日）

（審議事項）

- 富山大学学則の一部を改正する学則の制定について
- 富山大学薬学部附属和漢薬研究施設規則の一部を改正する規則の制定について
- 昭和45年度教養部授業日程について
- 名誉教授の称号授与について

（報告事項）

- （学士）編入学について
- 国大協第3常置委員会及び東海北陸地区国立大学長会議の報告について

### 第1回事務協議会（6月11日）

（議 題）

- 国立大学事務局長会議の報告について
- 全国国立大学庶務部課長会議の報告について
- 国立学校会計部課長会議の報告について
- 東海北陸地区会計部課長会議の報告について
- 文部省会計実地監査について
- 国立学校施設担当部課長会議の報告について
- 当面の学生運動について

### 第8回評議会（7月3日）

（審議事項）

- 富山大学工学部規則の一部を改正する規則の制定について
- 名誉教授の称号授与について

(3) 教官人事について

(4) 昭和46年度概算要求（案）について

(5) 昭和45年度教養部授業日程について

(6) 科学研究費の申請順位を決定する委員会の設置について

（報告事項）

(1) 国大協へ回答する学寮問題に関する意見調整について

(2) 国大協総会ならびに国立大学長会議について

### 第1回大学院委員会（7月6日）

（審議事項）

(1) 富山大学大学院学則の一部を改正する学則（案）について

(2) 富山大学学位規則の一部を改正する規則（案）について

(3) 富山大学大学院薬学研究科規則の一部を改正する規則（案）について

(4) 富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則（案）について

(5) 富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部を改正する規則（案）について

(6) 富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部を改正する規則（案）について

(7) 富山大学受託研究員規則（案）について

(8) その他

(イ) 富山大学大学院推せん入学問題について

(ロ) 富山大学大学院講座の公開問題について

### 大学問題対策本部会議（7月6日）

### 第2回事務協議会（7月9日）

（議 題）

(1) 人事管理について

### 第9回評議会（7月17日）

（審議事項）

(1) 富山大学附属図書館閲覧規則の一部を改正する規則の制定について

(2) 富山大学附属図書館図書選定委員会規則（案）について

(3) 富山大学大学院学則の一部を改正する学則の制定について

(4) 富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則の制定について

(5) 富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則の制定について

(6) 富山大学大学院薬学研究科委員会規則の一部を改正する規則の制定について

(7) 富山大学大学院工学研究科委員会規則の一部を改正する規則の制定について

(8) 富山大学学位規則の一部を改正する規則の制定につ

いて  
 (9) 富山大学受託研究員規則の制定について  
 (10) 昭和46年度富山大学入学者選抜学力検査実施教科、科目について  
**大学問題対策本部会議**（7月17日）  
**第2回大学院委員会**（7月17日）  
 （審議事項）  
 (1) 昭和46年度富山大学大学院薬学研究科（修士課程）学生募集要項について  
 (2) 昭和46年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）学生募集要項について

(3) 富山大学大学院工学研究科推せん入学について  
**大学問題対策本部会議**（7月24日）  
**第10回評議会**（7月27日）  
 （審議事項）  
 (1) 昭和45年度特別昇給定数（教官）の配分について  
 (2) 経済学部人事問題について  
**第3回事務協議会**（7月29日）  
 （議 題）  
 (1) 昭和45年度特別昇給定数（事務系）について  
 (2) 富山大学受託研究取扱規則の制定について

**人 事 異 動**

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
	室 郁 子	助手（薬学部）に採用する	45. 6. 1	富山大学長
	山 根 重 孝	文部技官（文理学部）〃	〃	〃
	高 田 喜 美 子	事務補佐員（工学部）〃	〃	〃
教 授 部 (文 理 学 部)	高 瀬 重 雄	富山大学文理学部長に併任する 富 学 評 議 員 に 併 任 す る (任期45.6.20~47.6.19)	45. 6. 20	文 部 大 臣
( 〃 )	西 山 勤 二	富山大学文理学部長の併任を解除する 富 学 評 議 員 の 併 任 を 解 除 す る	〃	〃
文 部 事 務 官 (経 理 部 主 計 課)	丘 山 昇	経理部経理課に配置換する	45. 7. 1	富山大学長
(薬 学 部)	森 腰 正 弘	文部技官に配置換する	〃	〃
用 務 員 (教 育 学 部)	神 戸 寿 々 代	技能員 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (経 理 部 主 計 課)	氷 見 嘉 康	司計係予算主任を命ずる	〃	〃
(経 理 部 経 理 課)	丘 山 昇	経理課用度係物品管理主任を命ずる	〃	〃
(教 育 学 部)	本 沢 健 二	学務係学生主任を命ずる	〃	〃
(経 済 学 部)	長 沢 義 男	〃	〃	〃
(教 養 部)	山 本 昭 子	厚生主任を免じ学生主任を命ずる	〃	〃
教 授 部 (教 育 学 部)	林 勝 次	附属中学校長事務代理を命ずる (期間45年7月23日まで)	45. 7. 7	文 部 大 臣
助 教 授 ( 〃 )	大 場 友 次	教 授 (教育学部) に昇任させる	45. 7. 16	〃
( 〃 )	高 野 兼 吉	〃 ( 〃 ) 〃	〃	〃
講 師 ( 〃 )	新 福 祐 子	助教授 ( 〃 ) 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (経 理 部 経 理 課)	新 田 昌 六	経理部主計課に配置換する	〃	富山大学長

**学 内 諸 報**

**文理学部長の改選**

5月13日に開催した教授会における西山文理学部長の辞任申し出に伴う文理学部長候補者選挙は、6月3日文理学

部会議室で行なわれ、選挙の結果、高瀬重雄教授が選ばれ、6月20日付けで文理学部長に就任した。高瀬学部長は、昭和7年3月京都帝国大学文学部史学科卒業後、引き続き同大学大学院に5カ年在学した。その後、大阪商科大学講師立命館大学法文学部教授、高岡工業専門学校教授などの職を経て、昭和24年6月富山大学文理学部教授となり現在に

至った。

この間、本学においては附属図書館長、学生部長、文理  
学部長および評議員などを併任、とくに文理学部長として  
は、昭和32年9月から38年8月まで連続3期および昭和40  
年9月から42年8月まで1期をつとめ、今度は5度目の就  
任となった。

また、昭和37年3月文学博士の学位を授与された。

### 大学開放講座の開設

かねて、文理学部岡崎初雄教授のもとで、一般社会人を  
対象とした、ドイツ事情を正しく理解するための大学開放  
講座開設を計画し、他学部教官の協力を得て、文部省へ実  
施計画案を提出、その委嘱に基づき聴講希望者を募集した  
結果、41名の聴講申込み者があり、7月10日から下記日程  
により開講した。

聴講者には女性が約半数を占め、ノートをとりながら熱  
心に聴講する姿が印象的であった。

#### 記

講座の名称 ドイツ事情およびヨーロッパ事情

開設期間 昭和45年7月10日～7月30日

開講日程 土曜日、日曜日を除く毎夕午後6時～8時

募集人員 約60名

会場 富山大学文理学部425番教室

受講料 750円

月日	曜	題名	講師
7. 10 13 14	金 月 火	ドイツの新聞と 女性問題について	富山大学文理学部非 常勤講師 菊江・ウィルヘルム
15	水	ドイツ文化の特色	富山大学文理学部教 授 岡崎初雄
16	木	イギリスから見た ドイツ	富山大学経済学部助 教授 新田隆信
17	金	ドイツの教育	富山大学教育学部助 教授 大塚恵一
20	月	ドイツの宗教	
21	火	ドイツの風俗	
22 23	水 木	ドイツの自然と シベリアの自然	富山大学教養部助教 教授 藤井昭二

24	金	ドイツの青少年 スポーツについて	富山工業高等専門学 校講師 中川英世
27 28	月 火	ドイツの学問的 風土について	富山大学文理学部教 授 西山勤二
29 30	水 木	ドイツ文化の特色	富山大学文理学部教 授 岡崎初雄

### 学位取得者

取得者 薬学部 講師 山口紀晃

取得学位 薬学博士

取得年月日 昭和45, 3, 23

学位論文 水晶体カプセルの膜透過と膜電位に関する物  
理化学的研究

取得者 文理学部 教授 田中專一郎

取得学位 理学博士

取得年月日 昭和45, 4, 10

学位論文 ある非線型差分方程式に関する関数差分方  
程式の漸近解について

取得者 工学部 助教授 多々静夫

取得学位 工学博士

取得年月日 昭和45, 5, 27

学位論文 快削性黄銅の被削性に関する金属学的研究

取得者 教育学部 助教授 新福祐子

取得学位 医学博士

取得年月日 昭和45, 6, 9

学位論文 死亡届からみた滋賀県民の保健衛生学的研究

### 叙位叙勲

(休職文部事務官) 那智平八郎

正六位に叙する

(休職文部事務官) 勲六等 那智平八郎

勲五等に叙し瑞宝章を授ける(7月5日)

休職文部事務官 正六位 那智平八郎

従五位に叙する (7月5日)

故休職文部事務官 正六位 那智平八郎

特旨を以て位一級追陞せられる(7月31日)

### 海外渡航者一覽

氏名	所属	官職	渡航の種類	目的国	目的	期間	備考
藤井 敏孝	教育学部	助教授	外国出張	ドイツ連邦共和国	教員養成教育に関する基 礎的實際的研究	45. 3.28 46. 3.27	在外研究員 44-甲-125
菅野 延彦	薬学部	助教授	外国出張	アメリカ合衆国	癌細胞の核蛋白質の研究	45. 6.30 46. 6.29	在外研究員 45-乙-22



塚崎 幹夫	教養部	講師	外国出張	フランス スペイン	フランス政府主催のフランス語研修講座受講ならびにパリ大学においてフランス文学研究調査のため	45. 7. 6 } 46. 7. 5
黒坂 富治	教育学部	教授	海外研修旅行	ソヴィエト連邦	ソヴィエト連邦モスクワ市において開催される第9回国際音楽教育会議に出席ならびに音楽教育の視察のため	45. 7. 7 } 45. 7. 23
須山 盛彰	教育学部 附属中学校	教諭	海外研修旅行	アメリカ合衆国 カナダ	アメリカ合衆国とくにカリフォルニア州の地理学的調査を行ない、学術研究をはかる	45. 7. 23 } 45. 8. 20
宇尾野逸作	教養部	助教授	海外研修旅行	アメリカ合衆国 カナダ	英語の研究を通じて国際交流を深める	45. 7. 25 } 45. 9. 25

昭和45年度科学研究費補助金交付内定者一覧

○ 一般研究C

所属部局, 職	氏 名	補助金額 (千円)	研 究 課 題
文理学部 教授	間野 潜龍	750	明清監察制度の研究
教育学部 助教授	加藤 寿美子	400	米飯のレオロジーに関する研究
経済学部 教授	菅原 修	440	市場的諸条件の変化の租税の転嫁に及ぼす影響の研究

○ 一般研究D

文理学部 助教授	高木 光司郎	440	遊離基のマイクロ波分光
文理学部 教授	横山 泰	310	Baeyer—Villiger 転位反応におけるC—14同位体効果の研究

○ 奨励研究A

文理学部 講師	尾島 十郎	200	芳香核を含む大環状共役化合物の合成
工学部 助教授	杉本 益規	200	水平回転円錐型連続分粒器の試作と応用
工学部 助教授	官下 尚	190	蒸発冷却器の操作条件に関する研究

○ 試験研究(1)

薬学部 教授	三橋 監物	1,000	新規モルフィン類似化合物の医薬品化への化学的および薬理学的研究
--------	-------	-------	---------------------------------

○ 試験研究(2)

薬学部 助教授	上田 道広	950	医薬品の経皮吸収に関する研究
---------	-------	-----	----------------

文部省会計実地監査

昨年の会計検査院の会計実地検査に引き続き本年は文部省からの実地監査が行なわれた。監査は昨年と異なり学内紛争も下火となったため封鎖等の心配のない状況のうちに実施された。(ただ、7月23日は安保自動延長の日でもあり学生が騒ぐ恐れもあるので7月22日の午後は検査場を会議室から附属学校へ移して行なわれた。)本年度の会計監

査の重点事項は 1, 会計経理に関する法令等の適用に関する事項 2, 予算決算に関する事項 3, 収入支出に関する事項 4, 債権に関する事項 5, 物品に関する事項 6, 国有財産に関する事項 7, 委任経理に関する事項 8, 受託研究規程の制定の有無および経理の適否 9, その他について。

以上のとおり全般的にその監査範囲は広く更に総合的に各部局についても監査されたが結果は何ら指摘および注意



された事項もなく良好な成績であった。なお監査日程および監査官ならびに提出調書は次のとおりである。

監査年月日 昭和45年6月22日～6月24日

監査官	経理班	文部事務官	柳 栄建
	用度班	〃	森川辰男
	総務班	〃	斉藤 進
	経理班	〃	中本 宏

調書目録 昭和44年度債権現在額調書

- 〃 歳入調書
- 〃 歳出調書
- 〃 学内配賦予算の執行状況調書
- 〃 授業料調書
- 〃 農場等に関する調書
- 〃 物品購入修理等調書
- 〃 工事調書
- 〃 受託研究調書
- 〃 奨学寄付金調書
- 〃 科学研究費補助金調書
- 〃 国有財産に関する調書
- 〃 土地建物借入調書
- 〃 外部団体等に関する調書

昭和45年6月1日現在会計事務分掌表

### 事務系初任者研修

富山大学事務系初任者研修は、6月1日（月）から9日（火）までの午前中、職員ホール洋間で行なわれた。

研修は昭和44年5月2日以降の新任事務系職員を対象に「基礎知識を与えると同時に勤務能率の増進に資する」ことを目的として行なわれたものである。

研修日程および研修生は次のとおり

6月1日（月）

開講式、公務員としての心がまえ（佐々木事務局長）、国家公務員法について（丸山庶務部長）

6月2日（火）

行政組織および富山大学の沿革ならびに学内規則について（河野庶務課長）、特別講義「情報化時代におけるコンピュータの役割について」（田中教授）

6月3日（水）

国の財政と大学予算および経理部の業務について（蓮覚寺経理部長）、学生の厚生補導および学生部の業務について（友部学生部次長）

6月4日（木）

特別講義「人間関係の心理」（泉助教授）、電話のかけかた（富山電報電話局第2営業課境公報係長）、午後レクリエーション（見学、広貫堂、富山工業高等専門学校、北陸銀行）

6月5日（金）

職員の服務について（木村人事課長）、共済組合法（短

期給付）について（大木主計課長）

6月6日（土）

富山大学の施設関係について（郷倉施設課長）、接遇について（川原庶務係長）、職員の任用および給与について（石野人事係長）

6月8日（月）

公文書の取り扱いおよび作成について（伊東文書係長）公務災害補償と退職手当および長期給付について（高松能率係長）

6月9日（火）

孔版技術について（草島人事係給与主任）、図書館の業務について（永田附属図書館事務長）、閉講式（研修生）

庶務課 五百崎喜明

施設課 吉野 義光

教育学部 北林 恒好

薬学部 藤野 広春

工学部 地崎 昇、柴田 利治

教養部 常楽 邦雄

附属図書館 山田 正芳

### 学 内 の 状 況

— 学生の動きを中心として —

6月、安保自動延長の月を迎えて、学生の政治集会は活発となった。各学部自治会は、安保反対、6月闘争勝利をスローガンに、相ついで学生大会を開催し、工学部は6月10日、教養部は6月13日、薬学部は6月17日、それぞれ6月23日までの期限付きストに入り、無期限スト中の経済学部、文理学部理学科に歩調を揃えた。文理学部文学科は、自治会執行部のスト宣言はあったが、ストに入れなかった。教育学部はストもなく、平常に授業が行なわれた。

一方学生の暴力傷害事件は、以前からときどきあり、憂慮されていた。

たまたま、6月17日反安保安全学総決起集会があり、学内デモから正門前国道でジグザグデモを行なった折、5月27日の暴行事件で手配中の一学生が逮捕されたことから、学生は正門前五福派出所に抗議し、釈放を要求して騒然となり、機動隊が規制して、学内におしもどしたため、学生らは正門をバリケード封鎖し、派出所に対し、学内から投石を行ない、派出所や民家の窓ガラスを破壊し、警察官、市民を負傷させる事件が起った。その後、過激学生は正門のみならず各門もバリケード封鎖し、抗議集会を開いたため不穏な空気が続いた。

このような状態から、学長は、学内の平静と秩序を保つために、正門などのバリケード撤去を決意した。翌18日、学長の命令により、機動隊支援のもとに、教職員の手によって排除された。その際、全共闘系の学生の抵抗、投石な

どにより、若干の職員がけがをした。しかしこのバリケード撤去によって、大学の強い姿勢が打ち出されたことになり、その後は、バリ封鎖などは行なわれなかった。

6月23日、反安保全学総決起集会は、午後1時すぎから集会をもち、約500名の学生によって、学内デモに引き続いて学外デモに移った。

学長はこのような状況から、暴力行為に対する警告と学内集会など学園の秩序を強く要請する告示（別掲）を6月24日朝、学内に掲示した。

6月23日がすぎ、期限付きストが終わって、学内は平静をとりもどし授業も再開されたが、なお、文理学部理学科、経済学部のストは続いていた。その後理学科は7月3日に学生大会を開き、5月8日から入っていたストを解除した。

経済学部も一般学生によりスト解除の動きはあったが、ようやく7月27日の学生大会においてスト解除がきまり、3月3日以来続いていた無期限ストは解除され、ここに全学は一応平静をとりもどし、全学部授業が行なわれるに至った。

他方、経済学部学生による、単位不認定等違法確認請求事件として、富山地裁で審理中の訴訟は、6月6日判決が行なわれ、原告（学生）の請求はすべて却下された。原告側は6月17日名古屋高裁金沢支部に控訴申し立てを行なった。

昨年7月発足した大学問題対策本部は、紛争解決のために努力を続けてきたが、学内状況の変化や学生活動の状況などから、大学問題も新段階に入ったため、7月24日の対策本部会議で解散することとなり、対策本部に常置されていた報導委員会は学生を対象とした広報委員会として発足し、学生委員会は補導協議会に吸収され、また制度委員会は大学問題改革準備委員会として独自の構想のもとに再発足することとなった。

大学紛争の端となった経済学部の教官人事も、昨年以來からの懸案であったが、学長の強い要請と経済学部の努力によって7月27日の評議会において了承され、経済学部の再建に大きく一歩をふみ出した。

以上のように学内は平静をとりもどし、経済学部も再建への道を一步踏み出したが、学生自治会は、教養部を除いて全部全共闘系の学生によってしめられている状態であり、学生の動きはなお流動的である。

大学の改革は一朝にしてなるものではない。より多くの衆智をあつめて努力し、一日も早く具体的方策を進めることであり、また、学生とのコミュニケーションの積み重ねによって、大学が、真に学問の研究と教育の府たるにふさわしい平静さと秩序をとりもどすよう、教職員、学生の強い決意が望まれる。

## 告 示

今日の政治問題、あるいは大学問題について、諸君が種

々の立場から意志を表明することは当然であるだろう。それが大学人にふさわしい平静な態度でなされる限り、批判も抗議も問題ではない。しかし、昨今のように、度重なる警告を完全に無視して、学園内における言論の自由はおろか、生命の尊貴さえ危ぶまれるほどの暴力を伴う政治活動、抗議行動については、いかなる理由を掲げようと、とうてい容認しうるものではない。角材、鉄パイプをかざして構内を横行し、本来、静穏であるべき学園をスピーカーの騒音で乱し、学内の備品を勝手気ままに持ちだして通路さえ遮断するなど、学園の生活を破壊するような行動は大学人として許されるべき事柄ではない。学園にこのような憂慮すべき事態が続く限り、今後、刑事事件ともなりかねないいっさいの無法な行動に対しては、遺憾ながら、そのつど警察力による取締りを要請することもやむを得ない。

大学の改革は一夜にして成るはずはなく、多くの資料に基づく思慮深い検討と、これまでも指摘されたいくつかの問題点への反省を通して全学の学園正常化に問う努力の中から、長期にわたって細心に計画されなければならない。政治的闘争を背景とする罵声や怒号の中から大学改革へ通ずる道はない。

なお、当分の間、特別の許可なくして、夜間9時半から朝8時まで、学外者はいうに及ばず、学生の五福地区大学構内への立ち入りを禁止する。

昭和45年6月23日

富山大学長 後藤秀弘

## 文部省共済組合北陸地区体育大会

昭和45年度文部省共済組合共同事業北陸地区体育大会（富山、石川、福井各県の大学、高専および商船の7校）は7月30日、31日の両日福井大学で行なわれた。本学からも選手50数名が参加して、炎天下熱戦をくりひろげた結果、卓球と排球があと一息というところで優勝を逸した。4種目の成績は下記のとおりである。

### 記

野球	優勝 福井大学	次勝 金沢大学
	富山大学は準決勝戦で福井大学に惜敗	
庭球	優勝 金沢大学	次勝 福井大学
	富山大学は4位	
卓球	優勝 福井大学	次勝 富山大学
排球	優勝 金沢大学	次勝 富山大学

## 学内釣大会・排球大会の開催

### 釣 大 会

日時 7月5日（日）午前5時～11時

場所 新湊市新湊漁港沖

入賞 一位 福山・浩（施設）二位 富田龍二（施設）  
三位 奥井三郎（経理）四位 南立作（工）  
五位 刈賀春樹（工）六位 水沢英男（文）  
七位 吉野義光（施設）八位 早崎寛威（経理）

参加者 30名

排球大会

日時 7月11日(土)午後0時30分～
場所 新体育館
入賞 優勝 文理・教養チーム
次勝 本部チーム 三勝 工学チーム

文部事務官那智平八郎氏逝去

前附属図書館事務長 文部事務官 那智平八郎氏はかねて病氣治療中の処、7月5日自宅において逝去された。

氏は昭和18年7月旧制富山高等学校嘱託として勤務後昭和24年同高等学校が富山大学に包括されるや文理学部厚生補導係長、ついで、昭和31年5月附属図書館事務長を命ぜられ、昭和44年3月まで附属図書館の管理運営に当たったが、同年4月病氣休職となり今日に至った。

昭和45年7月31日付従五位、勲五等瑞宝章を授与せられた。享年 54才、富山市出身

職員消息

<新任者>

文理学部

文部技官 山根重孝

薬学部

助手 室 郁子

工学部

事務補佐員 高田喜美子

<改姓>

薬学部

文部事務官 石黒壽子(旧姓・永森)

<住所変更>

教育学部

教諭 岡本公一

薬学部

文部事務官 石黒壽子

工学部

助手 伊藤紀男

文部事務官 山本悦子

石坂淳子

経営短期大学部

講師 西門正己

主要日誌

本部

6月

- 1～9日 事務系初任者研修会
3日 東海北陸地区国立大学長会議(於三重大学)
4日 補導協議員と学寮補導委員との合同会議

- 5日 第7回評議会 11日 第1回事務協議会
補導協議員と学寮補導委員との合同会議
12日 レクリエーション委員会
18日 認定講習委員会 20日 施設整備委員会
22～24日 文部省会計実地監査
25日 授業料減免選考委員会 補導協議会
26～27日 45年度国立大学協会総会(於国立教育会館)
29日 文部省国立学長会議(於国立教育会館)
7月3日 第8回評議会
4日 第22回北陸三大学学生総合体育大会(於福井大学)
5日 学内釣大会
6日 第1回大学院委員会 大学問題対策本部会議
7～9日 文部省共済組合監査
9日 第2回事務協議会
10日 入学者選抜方法研究委員会
16日 補導協議会
17日 第2回大学院委員会 第9回評議会
大学問題対策本部会議
24日 大学問題対策本部会議 27日 第10回評議会
29日 第3回事務協議会
30～31日 昭和45年度文部省共済組合共同事業北陸地区体育大会(於福井大学)

文理学部

- 6月3日 教授会、次期文理学部長候補者選挙
5日 理学科教官会議 8日 教授会
10日 学部対策委員会の学生委員会
17日 学部レクリエーション委員・真卒会役員合同委員会
20日 文理学部長に高瀬重雄教授発令
22日 昭和45年度文部省会計実地監査
26日 理学科教官会議
7月1日 教授会 人事教授会 学部職業補導委員会
3日 理学科学生大会(スト解除決議)
4日 立山研究室運営委員会
13日 文学科授業終了(12週)
15日 教授会 立山研究室開設
18日 理学科授業終了(3年次1週4年次3週)
22日 哲学選考委員会
25日 文理学部同窓会理事会

教育学部

- 6月
2～3日 日本教育大学協会北陸地区第2部会家庭科研究協議会
3日 教務委員会 教授会 人事教授会
4日 教育実習委員会
4～5日 北陸地区教員養成学部(分校)事務長協議会

- 8日 附属中学校研究協議会  
 10日 学部図書委員会 教授会 附属中学校遠足  
 10～11日 日本教育大学協会第2部会評議員会  
 11日 紀要編集委員会 17日 教務委員会 教授会  
 18日 附属小学校授業参観  
 19日 附属中学校授業参観  
 22日 文部省会計実地監査  
 24日 学部図書委員会 教務委員会 人事教授会  
 25日 呉山会理事会  
 7月1日 教授会 教務委員会  
 6日 人事教授会 7日 補導委員会  
 15日 養護学校教員養成課程検討委員会  
 16日 予算委員会 18日 附属幼稚園終了式  
 22日 教授会 教務委員会 学部図書委員会  
 22～23日 附属中学校林間学校  
 23日 人事教授会 附属小学校終了式  
 24日 養護学校教員養成課程検討委員会  
 25日 附属中学校終了式 26日 夏季休業  
 27日 補導委員会  
 29～31日 附属小学校林間学校

**経済学部**

- 6月1日 経済学部長候補者選挙 第6回教授会 第6回  
 教務委員会 4日 第7回教授会  
 10日 経済学部長候補者選挙 第8回教授会  
 13日 第9回教授会 経済学部長候補者選挙  
 15日 第7回教務委員会 22日 第8回教務委員会  
 7月1日 第10回教授会 第9回教務委員会 学生大会  
 4日 第11回教授会 6日 第12回教授会  
 第10回教務委員会 7日 第13回教授会  
 8日 学部集会(団交)  
 15日 第14回教授会 第11回教務委員会  
 21日 第15回教授会 24日 第16回教授会  
 27日 学生大会(無期限ストライキ解除決議) 第17回  
 教授会 第12回教務委員会  
 29日 第1回人事教授会 授業再開

**薬学部**

- 6月1日 新学期開始  
 2日 和漢薬研究施設運営委員会  
 3日 教授会 9日 補導委員会 10日 教授会  
 13日 共同利用研究施設管理委員会  
 15日 教授会 17日 教授会  
 24日 教授会 文部省会計実地監査  
 7月1日 教授会 薬学研究科委員会  
 7日 和漢薬研究施設運営委員会  
 8日 教授会 薬学研究科委員会  
 9日 図書委員会 10日 レクリエーション委員会  
 16日 図書委員会 22日 教授会

- 27日 夏季休業  
 28～30日 日本薬学会(於北海道大学)

**工学部**

- 6月1日 学部学生(補導)委員会  
 3日 一般教授会 専任教授会  
 4日 工場運営に関する準備委員会  
 6日 学部学生(補導)委員会  
 8日 一般教授会  
 10日 一般教授会 学部学生(補導)委員会と教務委  
 員会の合同会議 11日 一般教授会  
 17日 研究科委員会 専任教授会  
 18日 教職員懇談会  
 22日 学部学生(補導)委員会  
 24日 文部省会計実地監査 30日 日本脳炎予防接種  
 7月7日 日本脳炎予防接種(第2回目)  
 8日 学部学生(補導)委員会 一般教授会  
 15日 専任教授会 研究科委員会  
 28日 学部レクリエーション委員会

**教養部**

- 6月3日 教授会  
 10日 教授会 教授のみの教授会  
 13～23日 学生ストライキ 17日 教授会  
 24日 教授のみの教授会 7月8日 教授会  
 15日 定期健康診断 教授のみの教授会  
 17日 1年生夏季休業 2年生2期授業開始(前年度  
 後期継続分)  
 22日 教授会 図書委員会  
 25日 2年生2期授業終了  
 27日 2年生2期試験開始 29日 教授会

**附属図書館**

- 6月2日 事務打合せ  
 3日 図書館職員研修  
 4～6日 国立大学図書館協会理事会  
 10日 図書館職員研修 16日 事務打合せ  
 17日 図書館職員研修  
 24日 文部省会計実地監査 29日 図書館商議会  
 7月4日 火災報知機点検  
 5日 那智平八郎前事務長逝去  
 6日 リフト点検 7日 事務打合せ  
 13日 レファレンスルーム小委員会  
 21日 事務打合せ 24日 図書館商議会

**経営短期大学部**

- 6月22日 文部省会計実地監査  
 30日 第10回国立短期大学協議会総会(於国立共済会  
 館)  
 7月9日 第6回教授会  
 11日 球技大会(短大学生)  
 20日 第7回教授会  
 22日 夏季休業